

# 最近の主要な研究成果

## 1) レタスビッグベイン病の総合防除

各種防除技術を開発し、圃場に応じた対策を体系化



2~3毛作1,300ha30%の圃場が被害

- (1) 抵抗性品種
- (2) ほ場排水改善
- (3) 栽培法の改善
- (4) 輪作体系
- (5) キルパーによる土壤消毒

## 2) 緑色・黄色蛍光灯・高圧ナトリウム灯・LEDによる花き・レタスのヤガ類防除



レタスを食害するオオタバコガの幼虫

キクには緑色蛍光灯 蕾を食害するオオタバコガの幼虫



南あわじ市阿万地区レタスほ場の集団設置状況



高圧ナトリウム灯

LEDを利用したヤガ類の行動制御する終夜パルス照明技術を開発【特許申請中】



## 3) 強勢台木を利用した「不知火(デコポン)」の早期安定生産



通常台木の「不知火」

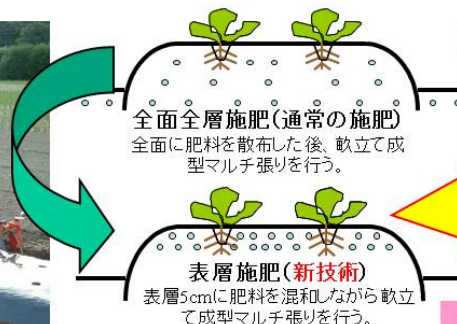


強勢台木の「不知火」

「不知火(デコポン)」・・・収穫量が強勢台木「シングルシトルメロ」利用で通常の2倍(6年生時)に向上した。

今後の展開・・・その他のカンキツ類についても強勢台木利用法を検討  
有望品種:「ゆら早生」  
「はるみ」(中晩柑)

## 4) 畦内表層施肥同時畝立て成型マルチヤを用いるレタス施肥の減量・省力化



効果

- ・30%の減肥
- ・肥料代が10a当たり3.6万円 → 2.4万円

平成21年度 18台導入